

八幡西区 ツーリズム

長崎街道と堀川

歴史の道百選

文化庁が定める「歴史の道百選」に選定された堀川は、2021年1月に開削着工から400年を迎えました。八幡西区の楠橋から途中中間市と水巻町を通過して洞海湾に注ぐ、全長約12キロの堀川は、地域に愛されるふるさとの川です。



八幡西区には、江戸時代、西洋の文化や新しい技術などを国内に伝えた「長崎街道」や、人々の生活や産業を支えた人工運河「堀川」を中心に多くの史跡が残されています。歴史の声に耳を傾けながらゆったり散歩してみませんか。



川ひらた(折尾高校内)
江戸時代以降、堀川を通過して米や石炭輸送に活躍した川船です。



河守(かわもり)神社
堀川開削工事の恩人である福岡藩・六代藩主黒田継高を祀っています。



石坂(いしざか)の急坂
江戸時代、この地は長崎街道の黒崎宿と木屋瀬宿の間にある難所でした。



藤の名所です

長崎街道

吉祥寺

廣旗八幡宮

寿命(じめ)の唐戸

遠賀川の水を堀川に取り入れる取水口です。

こやのせ 木屋瀬宿



木屋瀬宿は、筑前六宿の一つで船着場として栄えました。今も古い町並みが残され江戸時代の風情を漂わせています。



立場茶屋 銀杏屋

長崎街道を行く参勤交代の諸大名たちが休憩所として使った建物で、敷地内には樹齢約350年の大きな銀杏があります。

折尾駅南の堀川付近



堀川河口(洞海湾)



堀川



田町(たまち)歴史の径
航海の安全を守る灯台として黒崎湊の入口に建てられた常夜灯が今も残っています。



春日神社

黒崎宿



曲里(まがり)の松並木

江戸時代からの松は現在2本を残すのみですが、約750mの松並木は往時の長崎街道の面影を留めています。

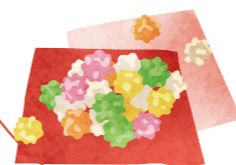
八幡西区には歴史を感じさせるものがたくさんあるんだね!

涼(すずみ)天満宮

菅原道真公ゆかりの神社。大松の下で旅人が涼んだことが由来です。

日本遺産 (シュガーロード)

長崎街道周辺のまちでは、当時貴重品だった砂糖を活かした食文化が花開き、カステラや羊羹など現在に続く数々の銘菓が生まれました。砂糖文化を広めた長崎街道は、いつしか「シュガーロード(砂糖の道)」と呼ばれ、2020年に日本遺産に認定されました。



長崎街道銘板



長崎街道には約500mおきに左のような銘板があります。歩きながら見つけてください。

